

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス Knop				公表日	R8 年 3 月 28 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		必要に応じて机の高さや教材の配置を調整している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		1人の利用児に対して一人の支援者がいる（担当制）。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		利用児が見通しを持って活動できるよう活動の流れをわかりやすく伝えたり、視覚的な手掛かりを取り入れている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の清掃や整理整頓を心がけ利用児が安心して過ごせる環境づくりをしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別支援ルームを完備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々の支援を振り返りながらスタッフ間で話し合う機会を持ち、より良い支援につなげている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		送迎時の会話や記録、フィードバックなどを通して保護者様の思いをうかがい支援に生かせるように努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々の気付きや様子についてスタッフ間で共有し、支援方法の見直しや工夫につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	必要に応じて外部の意見も参考にしている。	第三者の外部評価はまだ行われていないと思う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・毎月の勉強会が振り返りの機会となっている。 ・研修の機会が多い。児発管の研修にも参加させていただき、スキルアップにつながった。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		5領域に基づいた支援プログラムがあり公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		利用時の様子や保護者の思いを丁寧にくみ取った支援計画になっている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		担当と児発管でよく話し合いをしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画に沿った支援ができるように心がけている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の授業や記録などを通して利用児の様子を把握し、支援の見直しや工夫につなげている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに基づいた支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		担当の支援者が決めているが多職種の意見も取り入れている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		利用児の興味や発達段階に合わせて活動内容を工夫し、楽しく取り組めるよう意識している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		利用児の状況に合わせて小集団活動を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		その日の利用時の様子や支援内容についてスタッフ間で共有し、支援につなげるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	4		支援後には利用児の様子や気付いた点を共有し、次の支援につなげるように振り返っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の支援内容や子どもの様子を記録し、支援の改善につなげられるように心がけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		必要に応じて支援内容を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		必要に応じて学校と連携している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		まだ例がなくわかりません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		まだ例がなくわかりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		個別なので今のところない気がする。図書館へ外出支援で行った子はいる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3			今後していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		保護者と一緒に利用児の成長を見守っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			今後していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時にしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		支援者の一方的な支援にならないよう利用児の気持ちや保護者の思いを大切にしたい支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		支援内容についてはわかりやすく保護者に伝えて、同意を得たうえで支援を進めている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		来所できない保護者には送迎時に丁寧なフィードバックを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		特別工作の時にきょうだい児での参加をOKしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・特定の保護者からのクレームはチームで共有していると思う。 ・保護者からの相談には丁寧に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		Knop通信発行、インスタをしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		できている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		できている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			今後していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		必要な訓練は実施できている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		必要な訓練は実施できている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		できている。	医師の指示書は今のところ持ってきた人はいない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		できている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		できている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		できている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		記録して共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		できている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		できている。	